

急性期脳梗塞に対しての画像評価での治療方針決定・効果の違いについての研究

◆ 研究の対象となる方

2021 年 2 月～2024 年 1 月に脳神経内科にて、発症 6 時間から 24 時間以内に脳梗塞の加療を受けられた方。

◆ 目的・方法

脳梗塞は脳の血管が詰まり、多彩な神経症状を呈する疾患です。大きな脳の血管が詰まった場合にはカテーテルの治療を行うことが有ります。発症から 24 時間以内に、大きな血管が詰まった患者様に対して、カテーテルの治療を行うかどうか、神経症状や画像検査で決定します。従来は MRI 画像で判断することが主流でしたが、当院では 2022 年 8 月から CT 検査で、脳の血流の状態評価を行うことができるようになりました(脳灌流 CT といいます)。脳灌流 CT 検査を導入する前後での、治療方針や、治療効果の変化を検討するのが今回の研究の目的です。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、生化学検査値、画像検査、神経症状など診療の中で得られた情報を使用します。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 脳神経内科 部長 近藤大祐 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	--

以上